

協働のまちづくり

「自治会代表者会議」開催

今年で2回目となる「自治会代表者会議」が保健福祉センターみなくるにおいて開催されました。この会議は、昨年から施行された「町自治会推進条例」に基づき開かれるもので各地区自治会代表者や役員の皆さん22名が出席しました。



はじめに、池部町長より4期目のまちづくりの柱となる自治会活動推進

進条例の理念、「自助・共助・公助」に基づくまちづくりへのご理解とご支援・ご協力をお願いし、平成24年度の町政の主要な政策の概要について説明し、各課長などから担当する主要な事業やその進捗状況など町政全般について、報告しました。



また、質疑応答では、各事業への要望や情報の住民周知の効率化、各地区での自治活動の諸課題など多くの意見が活発に出され、町としての考え方を述べるとともに、今後の町政に理解と協力をお願いしました。

新・ご当地グルメグランプリ北海道 エゾカツカレー 総合3位入賞

7月7日・8日に根室管内別海町で行われた「新・ご当地グルメグランプリ北海道2012 in 別海」に南富良野エゾカツカレーが出場し、総合3位に入賞しました。

第3回目となった本グランプリには、全道各地より12のグルメの出店があり、過去2回とも総合4位と、一歩及ばなかったことから、今回は会員一丸となり入賞を目指しました。

審査の方法は、人気度・味・コストパフォーマンスの各部門の総合得点で競い、特に味部門においてはポイントが2倍になることから、各チームとも味の志向を凝らすなど工夫がなされ、南富良野エゾカツカレーは3種類の調味料をお客様が選べ、好みのエゾカツカレーに仕上げてもらおうという趣向を凝らしました。

1日目の中間発表では、人気度(販売数)12位・味部門3位・コストパフォーマンス部門3位、総合4位でしたが、2日目の最終発表では、中間発表より良い成績を残し、人気度(販売数)9位・味部門2位・コストパフォーマンス2位、総合3位となりました。南富良野エゾカツカレーは2日間で1千3百食以上を



提供し、過去2大会よりも多くの方に味わっていただきました。本グランプリは2日間で2万4千食を売り上げる北海道一の食イベントとなり、地元別海町をはじめ、北見、釧路地方から多くの来場者がありました。来年は芽室町にて開催されます。

なお、本年9月2日道の駅南ふらの横にて「北海道カレーサミット2012 in 南富良野」が開催されます。全道10地域から自慢のカレーが集まります。味わってみてはいかがでしょうか？

叙勲を受章

瑞宝双光章

東 雅雪さん(下山)

瑞宝単光章

士反 一美さん(幾 寅)

この度、永年にわたり町の消防団業務に尽力された東雅雪さん(下山)が叙勲(瑞宝双光章、永年にわたり消防職員として町の消防業務に尽力された士反一美さん(幾寅)が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)をそれぞれ受章され、6月28日伝達式が行われました。



副分団長、分団長、副団長を経て平成6年6月に団長となり、平成19年3月に退団されるまで54年6ヶ月の永きに亘り消防団員として、町民の生命と財産を守るために尽力されました。

在任中、火災発生時には現場で隣家への延焼を防止するため、先頭に立ち延焼防止作業を行うなどの消防活動にあたりました。

また、火災の発生しやすい時期には、夜間の広報により予防活動を実施するなど昼夜問わず不断の努力を



△受章された東さん(左)と士反さん(右)

これまでも消防庁長官表彰を受賞されており、この度の栄誉は、ことうした永年の功績が高く評価されたものであります。

士反さんは、昭和49年4月に富良野地区消防組合に消防士として採用され、分遣所長や支署主幹を歴任し、平成17年には支署長となり、平成20年3月に定年退職を迎えるまで33年に亘り消防職員として町民の生命と財産を守るために尽力されました。

この度の栄誉は、消防職員として永年の功績が高く評価されたものであります。



全国消防救助 技術大会へ出場

富良野広域連合富良野消防署南富良野支署の米木直人さんと宮崎敬太さんが7月12日、札幌市で開催された第41回全道消防救助技術訓練指導会において富良野広域連合消防本部の一員として、米木さんは、個人種目の水平に張られた20mのロープを往復する「ロープブリッジ渡過」に、宮崎さんは団体種目の2名で協力しながら垂らされたロープのみを使い、15m登る「ロープ応用登はん」に出場し、日頃の救助訓練の成果を遺憾なく発揮し、見事それぞれ全国大会の出場権を獲得しました。

南富良野支署では初となる全国大会出場に、両職員は、「災害救助などの実践を想定しながらこれからも訓練を重ね、全国大会では全道大会より良い記録がでるよう頑張ります」と話されました。

全国大会は8月7日に、東京で開催されます。



全国大会に出場する米木さん(左)と宮崎さん(右)